

「チャイルドラインしものせき」開設趣意書

「チャイルドラインしものせき」開設準備委員会
代 表 伊 藤 敦 子

チャイルドラインは、18歳までの子どもがかける「子ども専用電話」です。説明ぬき、押し付けぬきで子どもの声にただひたすら耳を傾ける、それがチャイルドラインです。匿名でかけられ、ヒミツは絶対に守られます。

1986年にイギリスで発祥しましたが、その電話番号を知らない子どもはいません。現在世界で150カ国にあり、ほとんどの国に存在しています。

日本では1998年に「せたがやチャイルドライン」が誕生し、翌年には「チャイルドライン支援センター」が発足しました。今では日本のあらゆるところにチャイルドラインがあり、子どもたちにとって少しでも生きやすい国になるように活動しています。

今の子どもたちが育つ環境は、家族とのつながり、地域とのつながり、友だちとのつながりなど、ごくごく身近な人たちとうまくつながることが難しい現状です。また、親だから、先生だから話せないという場合もあります。そんな時には、子どもの話に耳を傾け、ことばの奥にある「こころ」を受け止めることのできる大人が必要です。チャイルドラインは、そんな子どもの「気持ち」「こころ」を聴き、「心の居場所」を提供することを目的として始まりました。

チャイルドラインは、2008年11月から全国統一・フリーダイヤル専用番号でかけられるチャイルドラインになりました。全国36都道府県で66のチャイルドラインが活動（2009年8月1日現在）し、6都県で6つのチャイルドラインが準備中です。山口県内でも、宇部市、岩国市でチャイルドラインが活動しています。このように広がるチャイルドラインですが、子どもたちからかけられた年間24万件の電話のうち、1/3しかつながらないのが現状です。できるだけ多くの子どもとつながるためにもチャイルドラインの数を増やすことが大切です。

そこで下関市においても、「こどもなんでもネットワーク下関」が母体となり、2011年5月5日の開設を目指して「チャイルドラインしものせき」開設準備委員会を立ち上げて活動を開始することになりました。

どうか養成講座への参加やご寄付、開設のためのボランティアなど、皆様方のご協力やご支援をよろしくお願い致します。

チャイルドラインの4つの約束

- ①ヒミツはまもる
- ②どんなことでもいっしょに考える
- ③名まえはいわなくてもいい
- ④切りたくなったら切っていい

電話の現状

年間約24万件、1日あたり約700件。

相談内容は：性 19.44% 人間関係 14.3% 雑談・話し相手 11.7%
いじめ 8.6% 恋愛・異性関係 7.3%

参考URL

<http://www.childline.or.jp/> (NPO法人 チャイルドライン支援センター)